

平成 28 年 10 月 開通予定！ 寄居 PA スマート IC 整備事業

路線測量委託、用地購入費ほか **2 億 2,479 万 9,000 円**

平成 25 年度の主な事業

小学校・中学校 教育振興事業

児童・教師用図書、教材費、備品購入

848 万 5,000 円



美里中図書室

自治振興事業

施設改善事業補助金等

420 万円



小茂田児童センター

消防施設整備事業

街角消火器、消火栓施設費等
補助ほか

532 万 9,000 円



土地改良事業

ため池耐震点検
調査事業ほか

584 万円

浄化槽設置整備事業

浄化槽設置整備事業補助金

1,316 万 4,000 円



浄化槽

住宅政策推進事業

ファーストマイホーム
援助成、木造住宅耐震
診断・改修工事補助金

608 万 3,000 円

こども医療費支給事業

こども医療費
助成金ほか

3,777 万 6,000 円



美里MSミムリン

児玉郡市広域 市町村圏組合議会

美里町負担金

小山川クリーンセンター・消防費等

4 億 365 万 8,000 円

※ 詳しくは 12 ページ
をごらんください。



美里MSミムリン

平成 25 年
第 1 回定例会
3 月 4 日～ 21 日

平成 25 年度の予算を決める美里町議会第 1 回定例会が、3 月 4 日から 21 日までの 18 日間の日程で開催されました。平成 25 年度の一般会計をはじめ 7 つの特別会計予算のほか、平成 24 年度補正予算及び条例の制定・一部改正並びに廃止等の審議と、6 名の議員による一般質問が行なわれました。

平成 25 年度予算の主な施策

町づくりの主要事業である「寄居 PA スマート IC」整備事業は、アクセス道路の買収等を進め、周辺地域の土地所有者の意向調査等が行なわれます。

農業振興では、国営神流川沿岸地区土地改良事業の負担金の一括償還（7 億 7,800 万円）がされます。

健康づくり対策では、健康づくりアドバイザーを招き、健康づくりや生きがい対策などの事業化が図られます。

防災・防犯対策では、街角消火器を引き続き配備し、防犯灯の LED 化が計画的に図られます。

保健・医療対策では、胃がんリスク検診やワクチン予防接種などに努め、また、包括支援セ

ンターの充実を図り、高齢者の介護予防や自立支援が実施されます。

児童・母子福祉対策では、子育て支援のための需要調査が実施されます。

学校関係では、施設の適切な維持管理と運営に努め、生涯学習関係では、だれもが生涯にわたり気軽に学習できる環境整備が図られます。

コミュニティ施設改善事業により快適な環境の中でコミュニティ活動ができるよう支援が行なわれます。

将来にわたり持続可能な財政運営に努め、メリハリの効いた「選択と集中」を柱に、施策を図るとしています。

平成二十五年度 一般会計予算

賛成多数で可決

質疑

▽財政調整基金

問 財政調整基金残高が四億円となったが、大丈夫なのか。

答 国営神流川沿岸地区土地改良の負担金として、町の負担と受益者負担に区分されますが、受益者負担は起債ができないため、基金を取り崩して支払うこととなります。

問 今後は、災害などの有事が起ると、厳しい状況になりますので、予算を切り詰めたかと考えています。

▽行政情報メール

問 行政情報メールの登録状況及び、周知方法等について伺う。

答 行政情報メールの登録件数は、現在一八七件です。内容としては、防災や観光、イベントなど六部門の情報を発信しています。

また、通知文書等にQRコードを掲載し、登録者が増えるような取り組みを実施します。

▽避難所マップの印刷

問 災害対策としての避難所マップの作成内容を説明願いたい。

答 地域防災計画の見直しに伴い、コミュニティセンターを避難所から防災拠点と変更したことから、避難所マップを修正する費用です。

▽町内循環バス運行

問 町内循環バス運行業務委託料は前年度と同額であるが、今後の計画を伺う。

答 町内循環バスの運行経路の変更は、数年前に行ないました。小学校の児童や定期的にご利用している方がいますが、利用者の伸びはない状況で、一日十五名前後の利用です。今後の新たな方策を企画担当が中心に検討しており、平成二十五年度中には報告します。

▽遺跡の森館自主事業補助金

問 遺跡の森館自主事業実行委員会補助金の内容を伺う。また、遺跡の森ピアノコンクールはどのように運営するのか。

答 遺跡の森館自主事業実行委員会補助金五〇〇万円で運営し、この費用の中でピアノコンクールを開催します。

▽道路維持費の増額

問 道路維持費が一億円以上増額になった理由を伺う。

答 平成二十五年度は西山橋・古郡橋補修工事施工委託や川久保大橋橋梁補修工事などが増額の主なものとなっております。また、グレーダーの車検に伴う経費や業務委託料、工事請負費なども増額となります。



ピアノコンクール

▽人権問題研修会

問 人権問題研修会の内容を伺う。

答 平成二十五年度の人権問題研修会は、はじめの問題をテーマとした講演会です。

▽産業誘致意向調査アンケート

問 産業誘致意向調査業務委託料の内容を伺う。

答 スマートインターチェンジからの、取付道路付近の地主に対して意向調査をする費用です。



西山橋

▽防災計画による災害備蓄品

問 地域防災計画に基づいた災害備蓄計画について伺う。

答 地域防災計画の見直しを行い、災害備蓄品として、災害用ポリタンク・毛布・サバイバル米・水の購入等を計画的に実施します。



備蓄品

▽地域福祉基金利子の運用

問 地域福祉基金利子の運用について伺う。

答 地域福祉基金利子の運用は、美里町地域福祉基金条例第四条により、基金から生じる収益は、社会福祉協議会等で行なう事業の経費に充てることになっていきます。

▽敬老会のあり方を伺う

問 平成二十六年以降の敬老会は、新たなものとするということなのか。

答 敬老会については、平成二十六年以降で新たな形態のものに移行できるよう、平成二十五年で検討していきます。区長会、民生委員会等との調整を行なっていきます。

▽健康増進推進計画等プロジェクトチームの会議

問 健康づくりアドバイザーを呼び、プロジェクトを立ち上げたというが、何をするのか。

答 今年一月から庁内六課の職員で健康増進推進計画等プロジェクトチームの会議を開催しています。女子栄養大学の先生



美里中防球ネット

▽美里中のネットフェンス設置工事

問 美里中のネットフェンスの設置工事について伺う。

答 グラウンド造成工事に合わせて、南側に九〇センチメートルのネットフェンス、西側に七メートルの防球ネットを設置しましたが、その後、学校や関係者から要望があり、高さ三・五メートルのネットフェンスを設置して、外にボールが出ないようにする計画です。

を招き、いろいろな方面から健康づくりについての検討や住民参加型のワークショップの開催も検討しています。

討論

一般会計予算

反対 町民本位の町政実現に必要な予算が削られている



原田町長の財政運営は「長期的財政見通し」を作成し、健全財政を目指すことでした。結果「長期的財政見通しは厳しいものがある」と公共料金や税の据え置きは将来に負担を先送りするだけだと、水道料金に続き介護保険料と国民健康保険税を引き上げて住民に負担を強いる予算です。

一方で国営神流川沿岸地区土地改良事業の負担金7億8,000万円の支出に見合った事業計画がありません。今年度の町長の最重要施策である「寄居PAスマートIC」は平成28年10月の開通を目指すとして2億2,500万円を計上し、インターチェンジができれば、町の未来が開けると言いますが、それを有効活用する施策がありません。もう一つは「健康づくり対策」です。アドバイザーを招き、健康づくりや生きがい対策をしていますが、少子高齢化が進むことを考慮した施策の予算がありません。

開かれた町政を進めるためのオンブズマン制度の廃止や平和を守る事業でも「平和のための美里の戦争展実行委員会」への補助金を無くしました。健康福祉は住民負担が多くなり、お金がなければ健康が守れない住みにくい町になります。また、TPP問題など国の先の見えない農政ですが、町の担い手を育成・確保する取り組みが不十分です。教育では、町の未来を担う人材の育成に努めていくと言いますが、先生も生徒もゆとりがない教育を進めるものです。地方自治の本旨に沿って、町民の暮らしや生活を守る立場で、美里町ならではの魅力を高め、町民本位の町政実現に町民の必要とする予算が削られていますので反対いたします。

賛成 限られた財源で効率的な取り組みに期待



町の最重要施策の1つとして取り組んでいる寄居PAスマートIC整備事業は、国の連結許可が昨年の4月に下り、明るい展望が見えている。平成25年度より本格的な事業実施となり、事業費として約2億2,500万円を計上し、アクセス道路の用地買収等を進め、平成28年10月の開通を目指している。

首都直下型地震・東海地震の発生などを想定した対策や、交通安全施設の整備を図り、「胃がんリスク検診」「ピロリ菌検査」を計画し、高齢者の介護予防や自立支援、生きがい対策等が図られ、意欲と能力のある農業者の育成と、ブルーベリーを中心とした果樹の販売拡大に努め、町道2級2号線など7路線の新設改良工事と、路面の損傷が激しい箇所の舗装修繕が予定され、児童生徒に「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」など「生きる力」を育むことを目指し、各種教育施策の取り組みと、町民のだれもが一生にわたって必要な学習活動が受けられるよう各種講座が開催されます。

将来にわたり、持続可能な財政運営に努めるとともに、メリハリの効いた「選択と集中」を柱に事業の見直しや施策の重点化を進め、限られた財源で効率的な取り組みが期待されます。

厳しい財政状況の中、各種の施策が盛り込まれた適切な予算であり賛成とする。